



中神美砂さんに行くモスクワ世界遺産紀行

ご 案 内

期 間 : 2018 年 9 月 14 日～2018 年 9 月 20 日 (7 日間)
 訪 問 都 市 : モスクワ
 利用航空会社 : 日本航空
 ご旅行代金 : 349,000 円 ※燃料代、ビザ代などが別途かかります。
 最小催行人数 : 10 人

昨年はサンクト・ペテルブルグを主として回りましたが、今年はいよいよモスクワです。ロシアでは黄金の秋といわれる 9 月にモスクワの世界遺産を訪ねます。

城塞を意味する「クレムリン」という言葉は余りにも有名です。今回の旅の始まりはまずこの「クレムリン」を訪れることから始まります。「クレムリン」はロシアの歴史の端緒でもあり、今を映す鏡でもあるからです。モスクワ郊外の「黄金の環」と呼ばれる都市のひとつ、ロシア正教総本山の置かれている「セルギエフ・パサド」を訪ね、寺院群を見学します。

チャイコフスキーが白鳥の湖の作曲の構想を練ったとされる池のほりにある「ノボデビッチ修道院」やコロメンスコエにある「主の昇天教会」など、講義の中でお話しした世界遺産を見て回ります。モスクワに行ったらはずせない「トレチャコフ美術館」にも行きます。

コロメンスコエではロマノフ王朝のピョートル大帝やエリザベータ女帝が生まれた木造宮殿を見学、ツァリーツィノではエカテリーナ女帝関連の博物館を見学します。

どの場所も歴史的な建造物だけでなく、自然が素晴らしく、その中を歩いているとふと 18 世紀の時代に戻ったような感覚にとらわれます。

今回は面白い企画も予定しています。コロメンスコエの名前の由来になった、モスクワから南東に 110 キロ離れた人口 15 万人の小都市コロムナに出かけます。町は 12 世紀ごろに造られ、モスクワ川とオカ川が合流する地点にあります。コロムナにはモスクワと同じようにクレムリンがあります。ここでもロシアの大自然を味わっていただければと思います。コロムナは果物と砂糖で作られた伝統的なお菓子のパステラの産地でもあり、パステラ博物館があります。ロシアの伝統的な農家で、当時の服装をしたおばあちゃんたちからパステラの歴史について説明を聞き、お茶を飲みながらパステラを味わう体験をしたいと思います。

世界遺産紀行でもありますが、少しロシアの伝統と直に触れられる機会になればと思います。勿論活気あふれるモスクワの街並みも時間のある限り皆さんと散策したいと思います。

(中神美砂)

詳細は別途お渡しするチラシをご覧ください。締め切りは7月15日を予定しています。